

～酪農の輪 プロジェクト～ 牧場をもっと身近に！ 生産者と消費者をリアルタイムで繋ぐ

『春休み、親子で！オンライン牧場体験ご招待キャンペーン』を開催

協同乳業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：後藤 正純）は、JA 全農とともに、酪農と牛乳乳製品の魅力を発信する「酪農の輪 プロジェクト」の一環として、生産者と消費者をリアルタイムで繋ぐ『オンライン牧場体験』の第2弾となる『春休み、親子で！オンライン牧場体験ご招待キャンペーン』を開催します。

「酪農の輪 プロジェクト」は、協同乳業株式会社が JA 全農とともに、牛乳の消費拡大と生産基盤の安定に資することを旨とし、消費者・流通と酪農家との相互理解の促進や、牛乳乳製品の魅力を発信する取り組みです。

現在、コロナ禍により牧場を訪問して体験することが難しい状況です。本キャンペーンはオンライン牧場体験の開催により、消費者の方々に酪農の現場をより身近に感じていただくことで、国産の牛乳・乳製品への愛着を深めてもらいたいという願いで企画しました。

【企画概要】

第2弾となる「春休み、親子で！オンライン牧場体験ご招待キャンペーン」では、農協牛乳の側面広告や協同乳業株式会社公式ホームページ、公式 SNS を通じて、特設キャンペーンサイトより募集します。募集期間は、2月10日（木）～3月10日（木）の1か月間です。抽選で60組の方を、3月25日（金）、26日（土）に開催する「オンライン牧場体験」にご招待。体験では酪農家の仕事や乳牛について、リアルタイムで繋がりながら、「見て、話して、知る」ことができるよう、牧場を紹介していきます。

体験する牧場は、北海道十勝の土幌町で300頭の乳牛を飼っている(株)山岸牧場さん。当日はオンラインでのやりとりに加え、参加者には教材として乳牛が普段食べている牧草などをお届けし、牧場のにおいや感触も感じられるように工夫をこらしてご案内します。

■キャンペーンサイト <https://www.meito.co.jp/onlinefarm02/>



牧場主の山岸さんと娘の愛さん



農協牛乳の広告欄



山岸牧場の様子

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外食需要などの落ち込みが続く中、生乳需給の緩和が懸念されています。協同乳業株式会社は、今後も「酪農の輪プロジェクト」を始めとした取り組みを通じ、酪農や牛乳乳製品の魅力を発信するとともに、酪農業界を取り巻く環境についても身近に感じていただけるよう、消費者と酪農家との交流を促進してまいります。

【協同乳業 株式会社とは】

協同乳業株式会社は、昭和 28 年 12 月に「食のトップランナー」として創業し、以来 60 年以上お客様の立場に立った商品開発と、進取の気風を持った確かな技術力で数々のロングセラー商品を生み出してきました。昭和 30 年 3 月にはデンマークから輸入した機械で日本初の「アイスクリームバー」の生産を開始、昭和 35 年には日本初の当たりつきアイス「ホームランバー」を発売し、令和 2 年に 60 周年を迎えました。昭和 31 年 12 月には、スウェーデンからテトラパックマシンを輸入し、日本初の「テトラ牛乳」を生産開始。その他にも、本格的な「カスタードプリン」の工業化など様々な“日本初”のヒット商品を世の中に生み出してきました。また、平成 23 年 8 月には、世界で初めてプロバイオティクス※（ビフィズス菌 LKM512）を用いて哺乳類（マウス）の寿命を伸ばすことに成功し、その成果論文が米国の科学ジャーナルに掲載されました。平成 28 年 3 月には乳業界初の交流高電界殺菌法を用いた「農協牛乳」を関東エリアで発売し、令和 2 年 3 月より東海エリアへ、令和 3 年 4 月より関西エリアへ拡大しています。平成 31 年 3 月より「農協珈琲」、令和元年 10 月より「農協ヨーグルト」をそれぞれ発売しました。これからも、自然の恵みを大切に、酪農家が生産する乳の持つ価値を最大限に活かした商品を消費者に提供することで、健康で豊かな食文化の創造につとめていきます。

※腸内フローラのバランスを改善することにより人に有益な作用をもたらす生きた微生物

【会社概要】

会 社 名：協同乳業株式会社

代表取締役：後藤 正純

本社所在地：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 17-2

事 業 内 容：1.牛乳、アイス、デザート、乳製品の製造、販売
2.牛乳をもとにした素材事業など

企 業 URL：<https://www.meito.co.jp/>

■商品に関するお客様お問い合わせ先

協同乳業株式会社 お客様相談室 0120-369817（ミルクハ イーナ）